

# 令和1年度第1四半期景況調査報告書

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平成31年4月～令和元年6月期の景況調査を実施いたしました。ご協力していただいた会員様へ厚くお礼申し上げます。以下に調査の方法と結果を掲載いたします。

調査時期	平成31年4月～令和1年6月
調査企業	製造業16件 建設業13件 小売業11件 サービス業20件 宿泊業11件
調査方法	調査票への選択記入
作成日	令和1年7月
分析手法	今期の経営環境（売上、仕入、利益等）については同年四半期前期と前年同四半期を100%として、今期の景況を「1:増加」「2:不変」「3 減少」で回答を得ている。景気の拡大を示す経済指標であるディフュージョン・インデックス（DI）は、1を選んだ企業の構成比（%）から3を選んだ企業の構成比（%）を引いて算出している。DIがプラスのときは景気拡大期（好景気）、マイナスのときは景気減速期（不景気）と判断する。また雇入れの予定、設備導入の予定、経営課題についても質問し、それらを単純集計してより多面的に景況を判断する。

<製造業>サンプル回答数：16件

今期は販売単価増加。前回に比べ生産設備不足・老朽化の課題は解消傾向。

○図

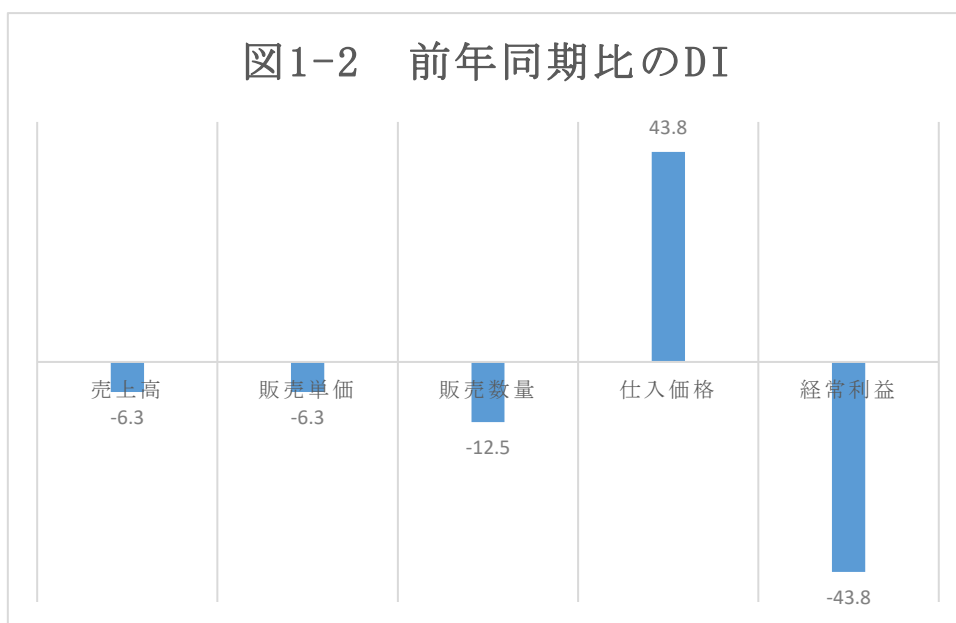
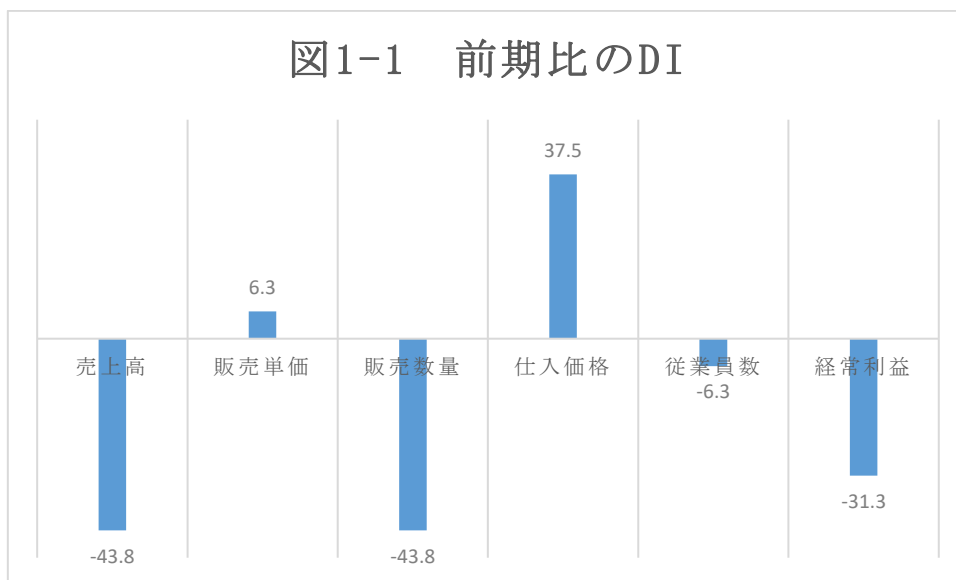


図1-3 雇入れと設備導入予定

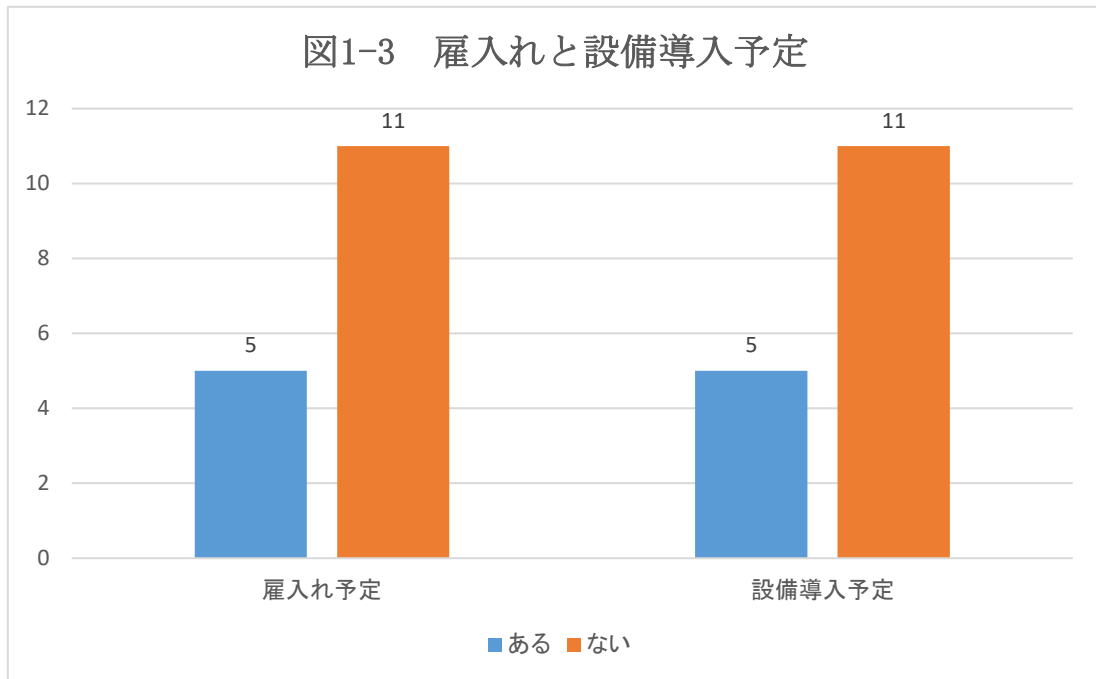
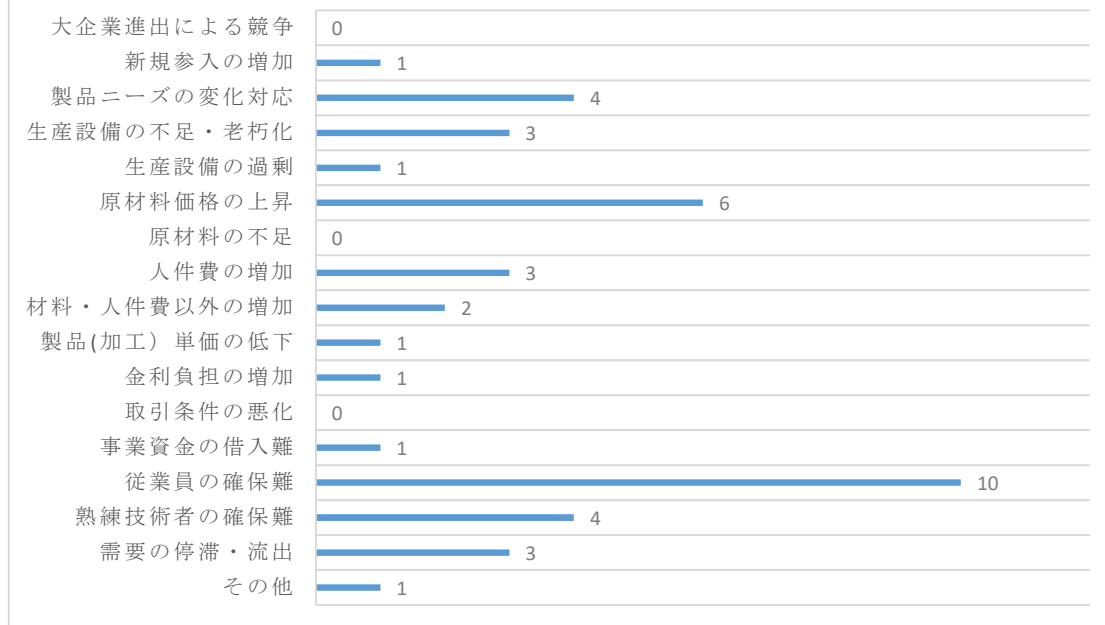


図1-4 経営課題について  
(1社につき最大3つまで回答)



<建設業>サンプル回答数：13件

人手不足の課題が最重要である中、今期は従業員DIがプラス値。

○図

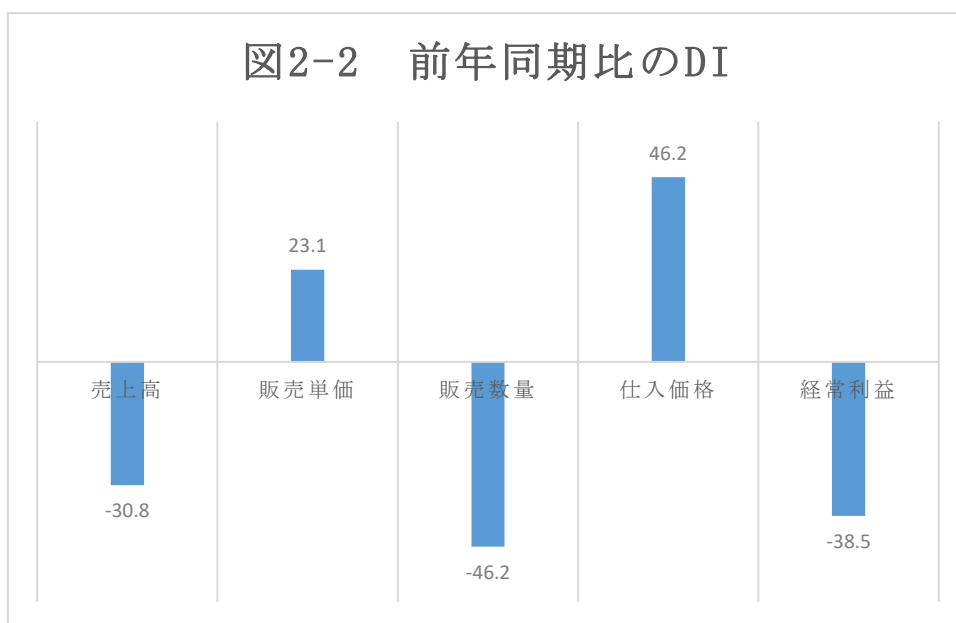
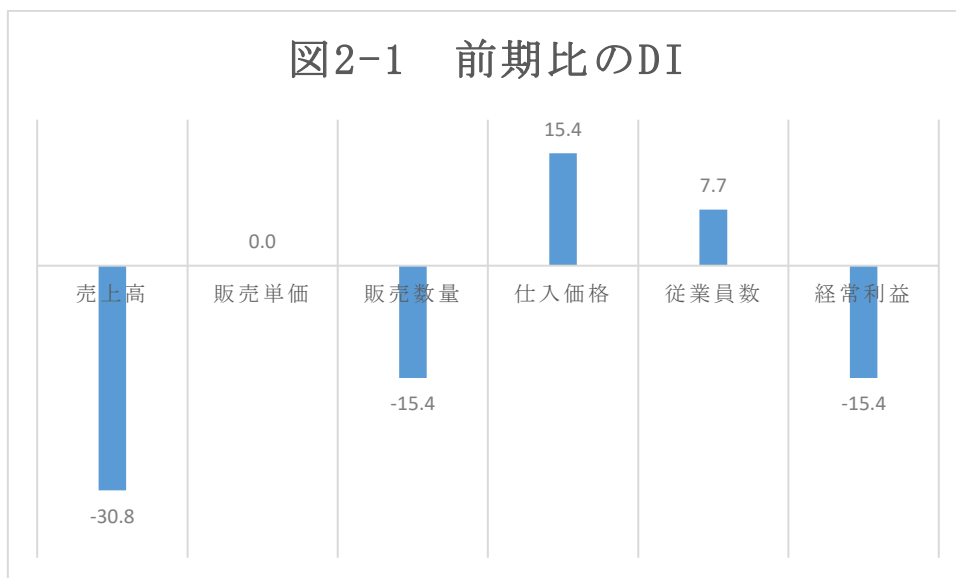


図2-3 雇入れと設備導入予定

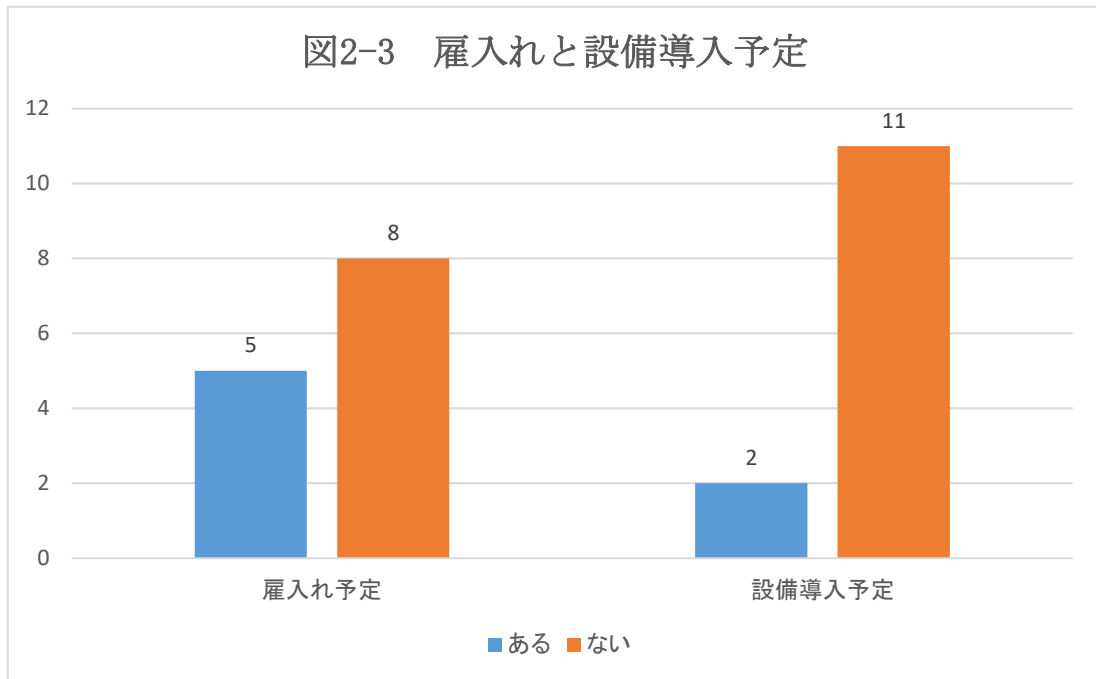
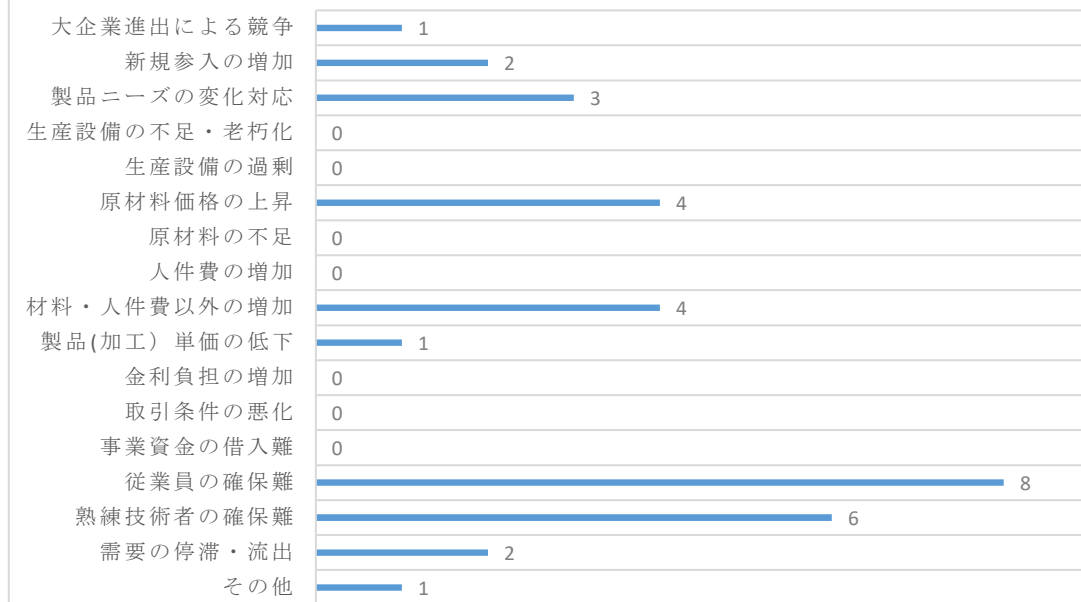


図2-4 経営課題について  
(1社につき最大3つまで回答)



<小売業>サンプル回答数：11件

前期と比べ売上高は伸びているが利益が出ていない。大企業との競争に苦戦。

○図

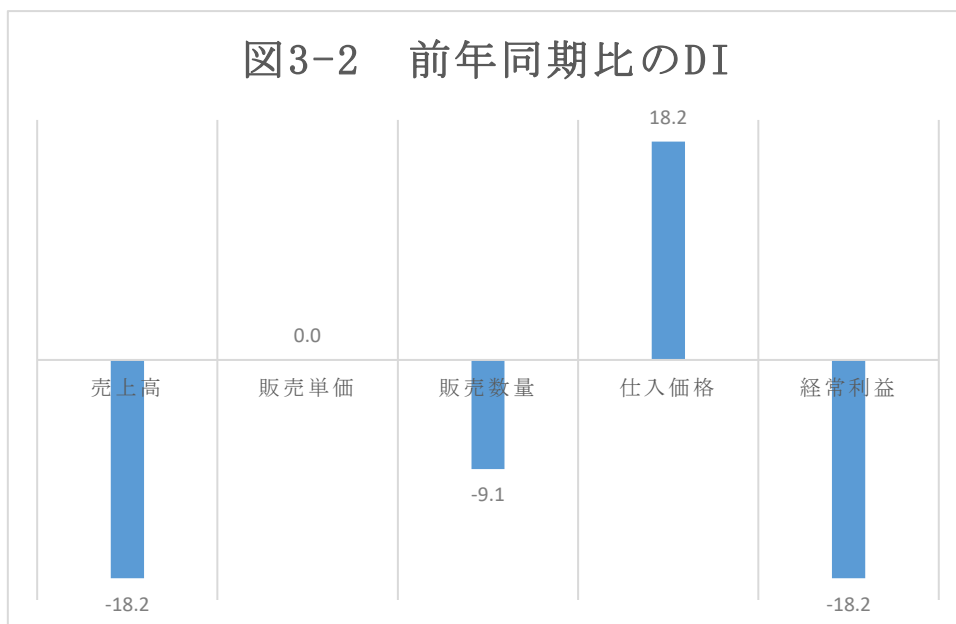
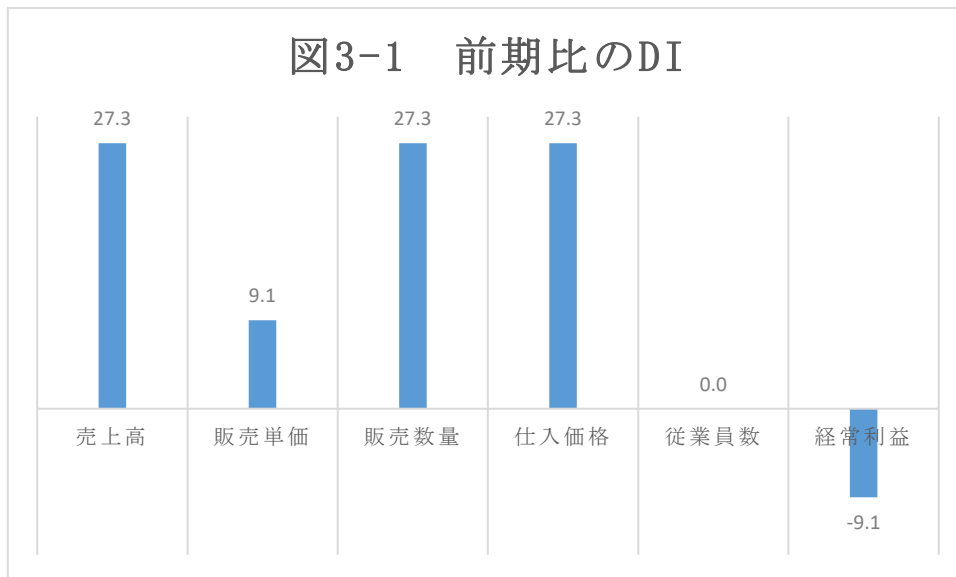


図3-3 雇入れと設備導入予定

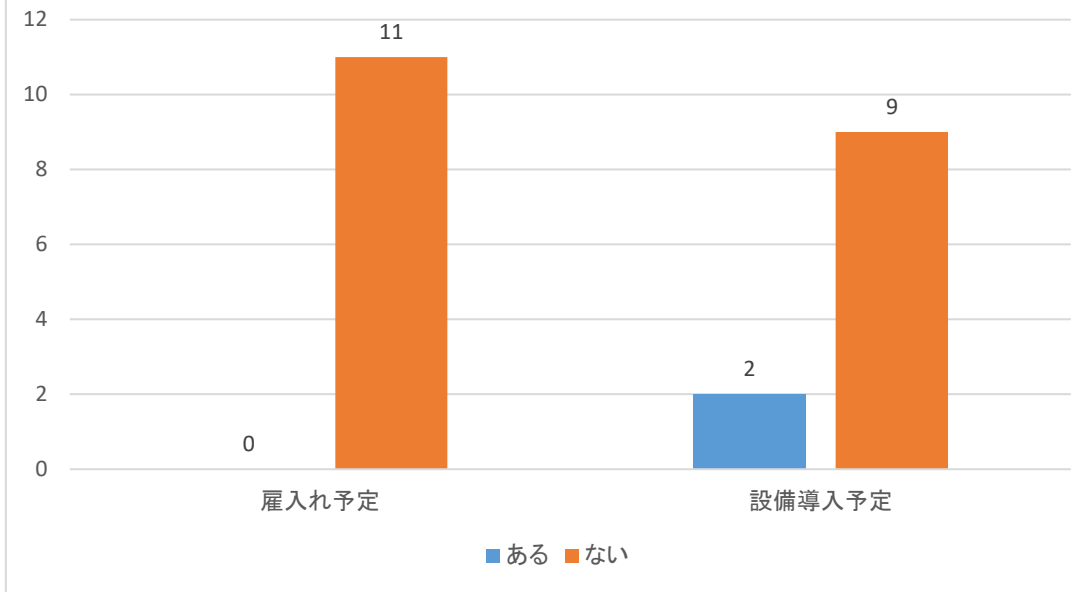
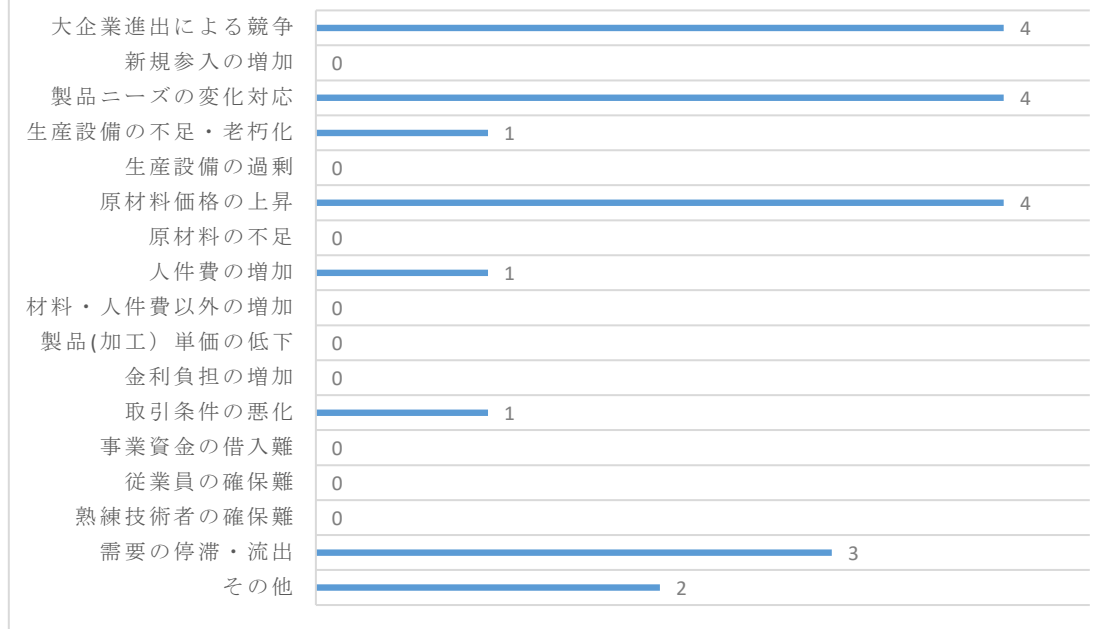


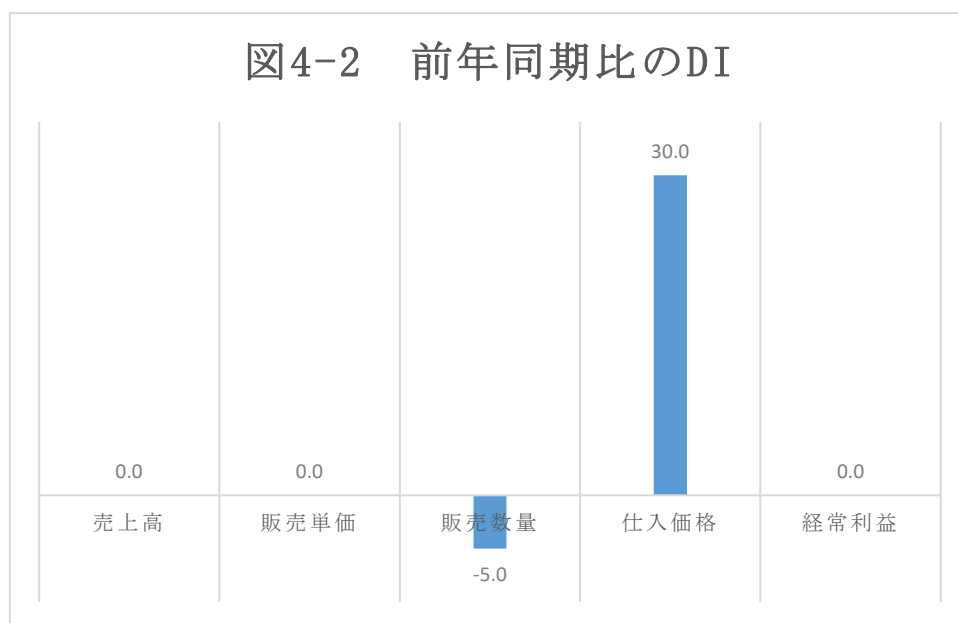
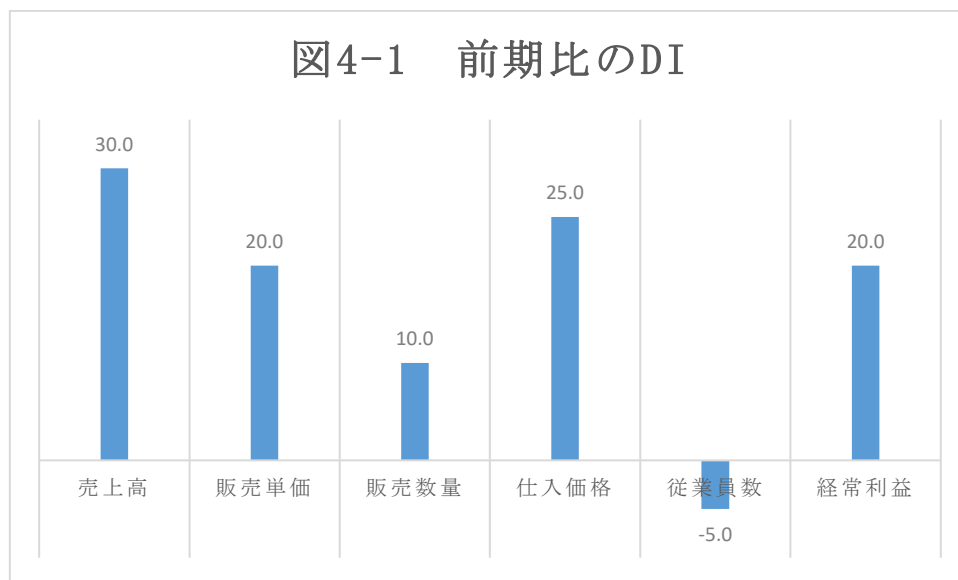
図3-4 経営課題について  
(1社につき最大3つまで回答)



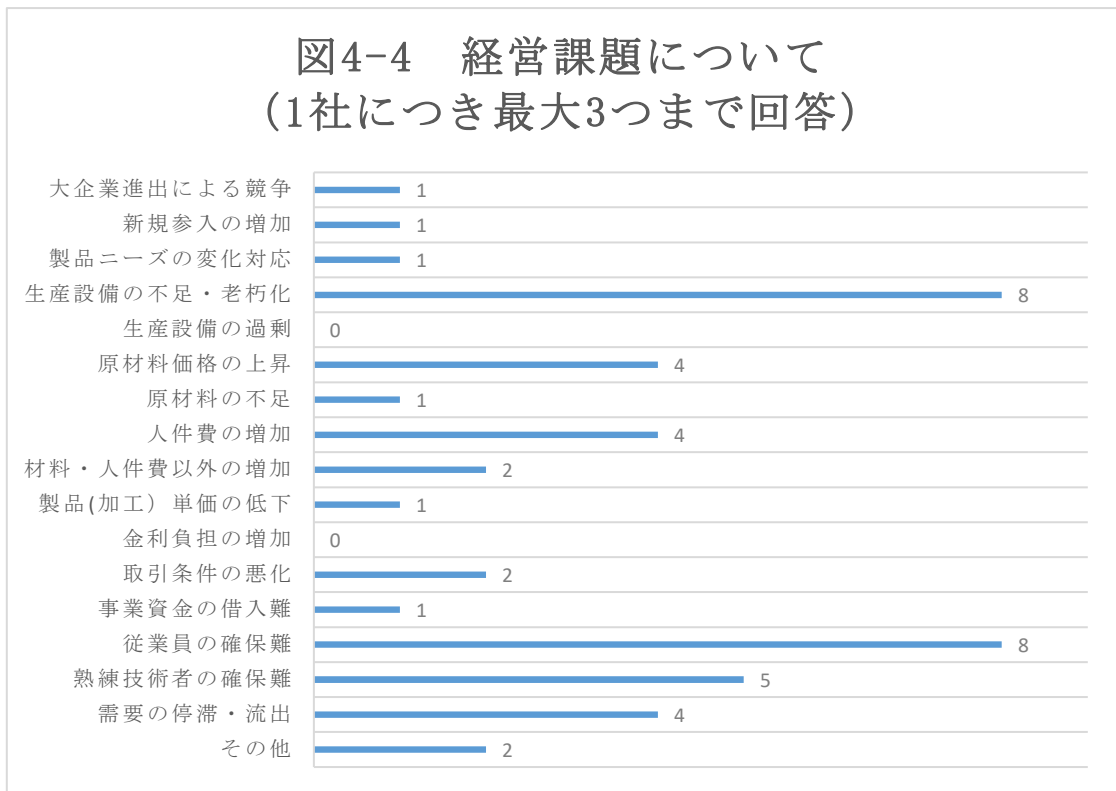
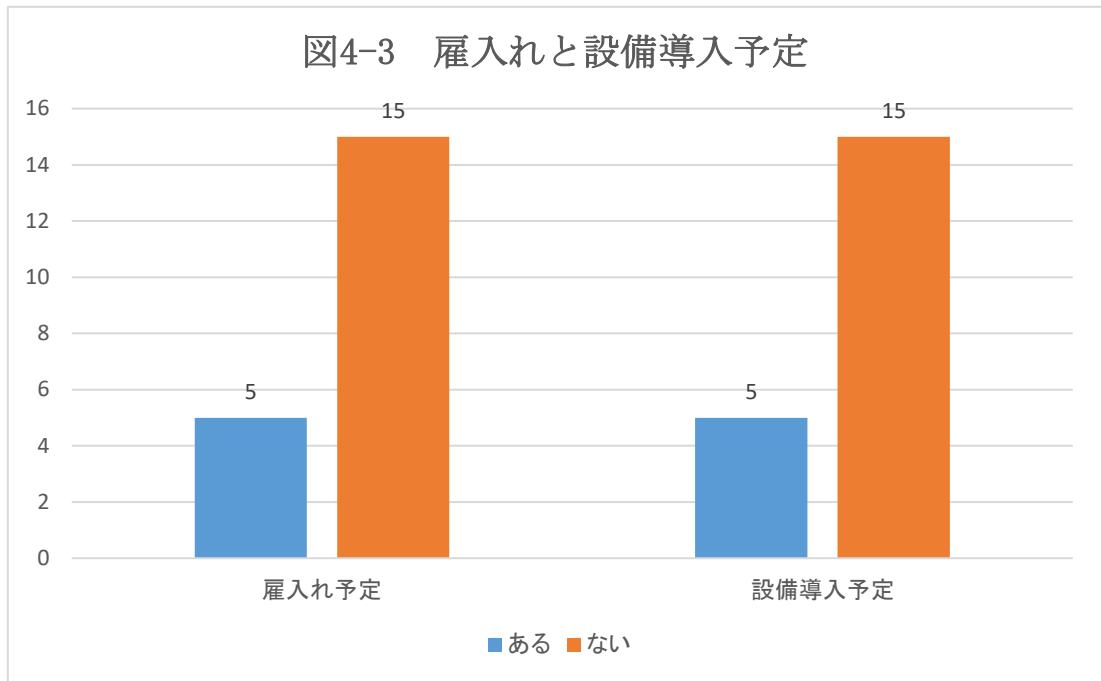
<サービス業>サンプル回答数：20件

前期比で業績が良かったのはサービス業のみ。従業員確保難は根強い課題。

○図







<宿泊業>サンプル回答数：11件

前回調査に続いて設備老朽化と従業員確保の課題が根強い。

○図

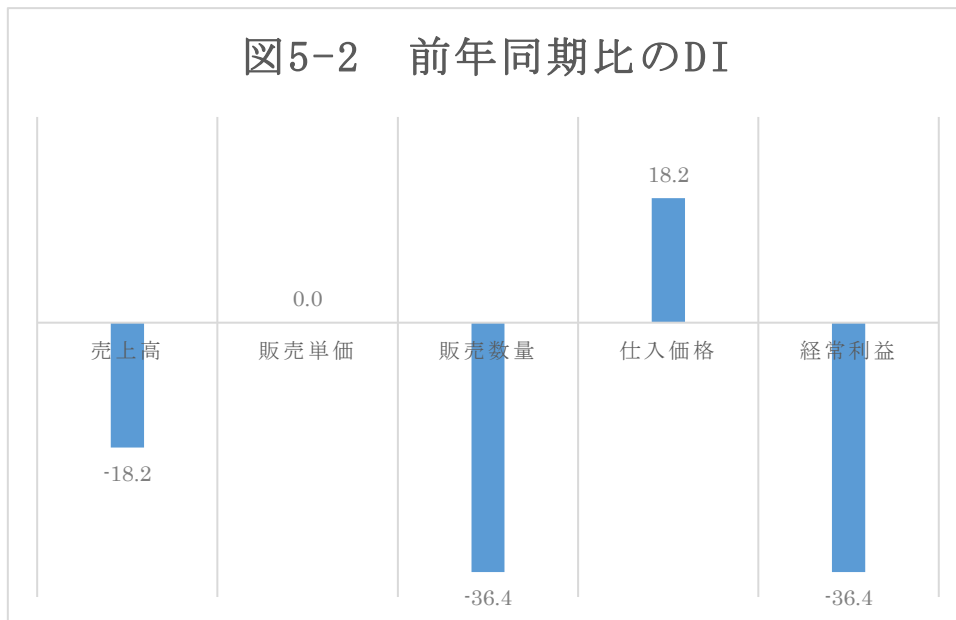
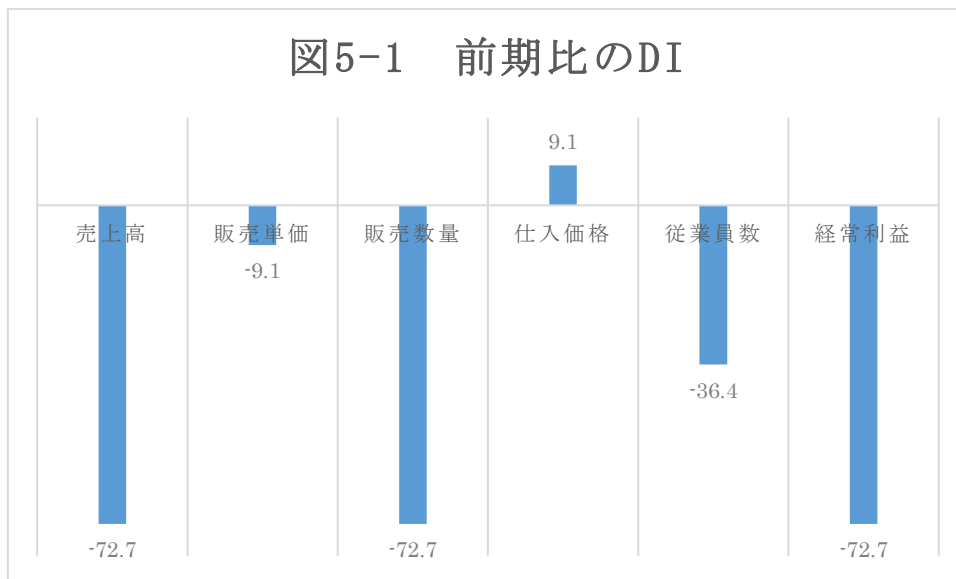


図5-3 雇入れと設備導入予定

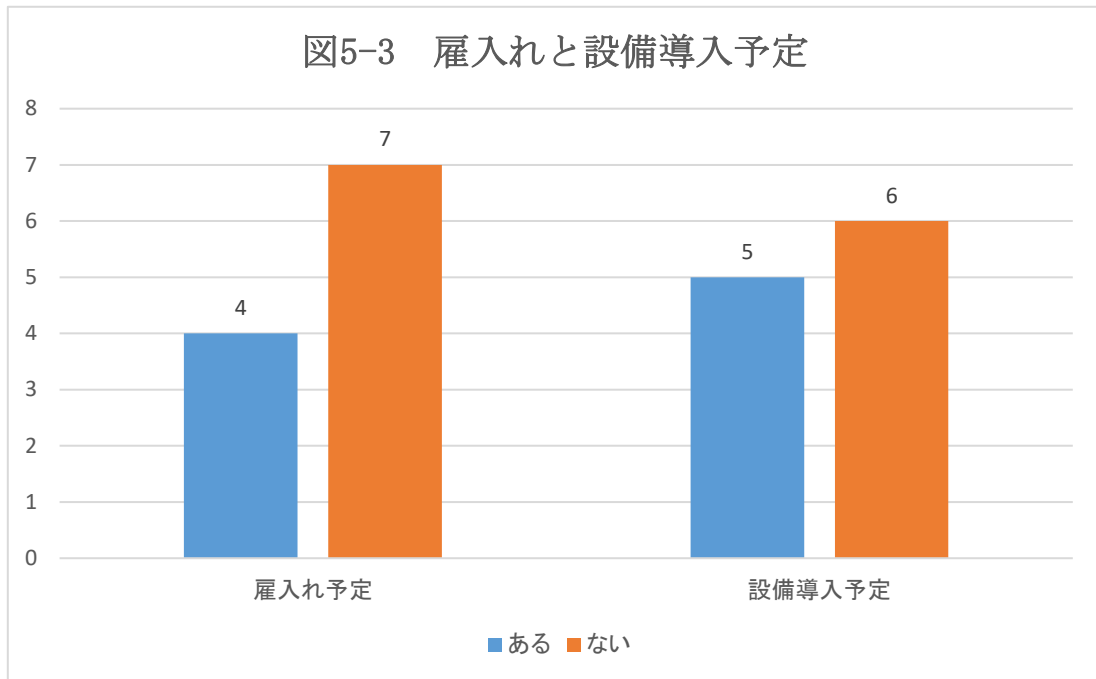


図5-4 経営課題について  
(1社につき最大3つまで回答)

